

# はくば 白馬

議会だより  
124号



熱い思いをありがとう!  
みなさんが私たち村の誇りです。



お祝いに駆けつけてくれた大勢のみなさん



横断幕を用意してくれたみなさん



選手のみなさん



白馬北小・白馬中吹奏楽部のみなさん



白馬高校のみなさん



白馬中スキー部・女子のみなさん

■ 村政を問う 一般質問 ..... 13

- ・ 新たな観光財源で想定する財源規模は ..... 14
- ・ 新リサイクルセンター建設の方向性は ..... 15
- ・ 村民の懐を温めて、観光財源確保を ..... 16
- ・ 子育て世代包括支援センターの開始は ..... 17
- ・ ごみ処理広域化の準備状況と課題は ..... 18
- ・ ケーブルTVで財源検討審議会の放映を ..... 19
- ・ 平成30年度予算で重要視した事業は ..... 20

■ 平成30年度予算

- ・ 子育て世代支援を充実!! ..... 2
- 一般会計予算60億4700万円、ほか5会計
- ・ ここが聞きたい!今年はどう変わる? ..... 4
- 「みんなの予算」その使い道
- 常任委員会審議
- ・ ふるさと納税 寄附総額2億100万円に!
- ・ 除雪費用 総額3億1215万円に!
- 平成30年度予算に附帯決議 ..... 11
- 夢・私たちに。「わたしのひとこと」 ..... 22

# 支援を充実！

## 4700万円・他5件の特別会計予算

### 景観形成計画作成事業 117万円



2020年までの景観行政  
団体移行を見据えて、2年かけ  
て白馬村にふさわしい景観計  
画を策定。

### 消防車両購入事業 2310万円



住民生活の安心安全のため、  
更新計画に基づきポンプ車1台  
を購入。

### 北城南部ほ場整備事業 1400万円



北城地区中央部に優良農地  
41haを確保する事業に着手。  
30年度は実施設計。

### 村道改良事業 4億3400万円



村道改良のための用地取得・  
改良工事、舗装修繕工事等。

## 議会も注目する目玉事業

### 3月定例会

平成30年第1回定例会は、3月  
5日から22日までの18日間の会期  
で開会。

初日から5日間は予算特別委員会を設置し、平成30年度一般会計  
予算及び5件の特別会計予算を集中審議しました。

一般会計予算総額60億4700万円は、前年度当初予算と比較し  
て5億800万(7.7%)の減です。

歳入では、主な財源となる固定資産税の評価替えから減少となる  
見込みです。地方交付税への依存度が高くなる状況ですが、国の財政  
計画において、前年度を上回る額が確保されたものの、基準財政収入  
額の算定に用いる徴収率の段階的見直しなどにより、今後減少して  
いくことが想定され、厳しい財政運営が予想されます。

歳出では、広域ゴミ焼却施設の建設や神城断層地震による災害復

旧がひと段落したことから、抑制していた道路改良事業など、地域要  
望に応えるための社会基盤整備事業を再開したことで費用は増加す  
る状況です。

予算編成の基本的な方針は、第5次総合計画及び総合戦略の確実  
な推進、地区懇談会等による住民の声の反映、自立性の高い持続可能  
な行財政運営のための経費の削減と自主財源の確保など、納税者の  
視点にたった行財政改革の推進。

さらに子育て支援や地域振興策など喫緊の行政課題への対応、歳  
入の確な確保と新たな財源を創出し、将来を見据えた投資を推進  
する予算編成とされています。

予算特別委員会では重点的に取り組む事業を中心に審査を行い、  
最終日に全予算を可決しました。

# 30年度 予算

# 子育て世代

## 一般会計予算の規模は60億

### グリーン期観光の自転車環境整備事業 585万円



自転車テーマとした環境整備と各種事業への取り組み。東京オリンピックの事前合宿地への立候補。

### 氷河調査事業 371万円



唐松沢が氷河である可能性があり、本格的な調査に着手。

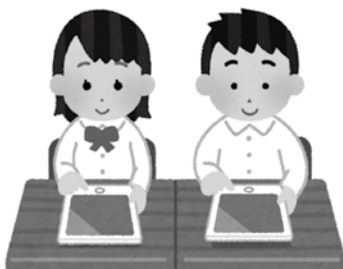
### 新図書館建設事業 564万円



新図書館の建設に向け有識者会議を設置。同時に基本構想策定に取り組む。

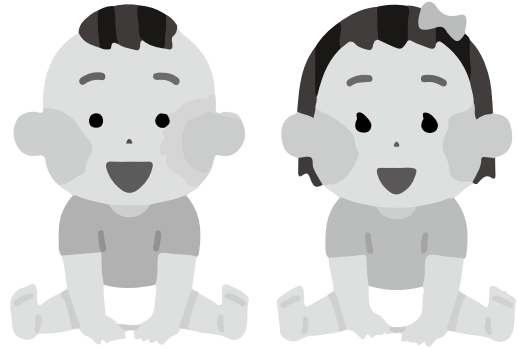
### 小学校環境整備 1358万円

### 中学校情報教育環境整備 1448万円



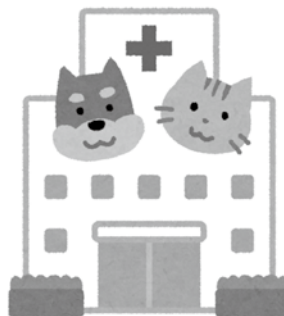
南北小学校での校舎一部改修による環境整備。中学校では、一人1台のタブレット端末配備を完結。

### 子育て相談支援事業 3936万円 子ども子育て支援サービス 181万円 母子保健衛生事業 142万円



妊娠、出産から子育てまでの切れ目のない支援実現のため、ふれあいセンター内に「子育て世代包括支援センター」を新規開設。コーディネーターや相談員を配置。これに併せ、産前産後のサポートやケア、検診事業などを充実。  
子育て家庭支援のための子育て支援アプリ・小児科オンラインを導入、ガイドブック作成。

### 福祉医療費給付事業 4240万円



子ども、障がい者、ひとり親世帯を対象とした医療費給付事業。18歳までの医療費無料化を継続し、8月診療分からは現物給付方式を採用(窓口負担は500円のみ)

### 南部グラウンド改修工事 1億2588万円



生涯スポーツ拠点の一つである南部グラウンドを全面改修。

特別委員会  
予算予委

# 変わる？ 質疑

## その使い道

### トイレ改修の優先度は

総務課

**質疑** 議会費の工事請負費の内容は。

**回答** 議会棟の身障者用トイレ設置に関わる改修費。

**意見** トイレの改修より傍聴者用の階段への昇降機設置や、庁舎2階トイレの改修が優先的には先ではないか。

**回答** 優先順位についての意見は理解出来るが、各予算要求の中から、今回は3階身障者トイレの設置を優先した。限られた予算の中で、要求事項を段階的に対応していきたい。

**意見** 庁舎改修事項なので議会費の修繕費とせず、総務費の財産管理費の修繕費とすべきでは。

**回答** 基本的には同じ庁舎内にあっても、3階は議会棟という位置づけなので議会に関連するものとして議会費に入れた。

**質疑** ノルウェービレッジの改修の内容は。

**回答** 老朽化により屋根・外壁塗装、トイレの改修など500万円余りを見込んでいます。姉妹都市提携事業の普通旅費の使途は。

**質疑** 500万円余りを見込んでいます。姉妹都市提携事業の普通旅費の使途は。

**回答** 500万円余りを見込んでいます。姉妹都市提携事業の普通旅費の使途は。

**質疑** 500万円余りを見込んでいます。姉妹都市提携事業の普通旅費の使途は。

**回答** 500万円余りを見込んでいます。姉妹都市提携事業の普通旅費の使途は。

**質疑** 500万円余りを見込んでいます。姉妹都市提携事業の普通旅費の使途は。

**回答** オーバービーゼンタールとの交流35周年事業に、白馬村のコーラスグループ11名が参加予定で、80万円の旅費を補助する。

**質疑** 地域公共交通検討会議の開催は。

**回答** 会議は10回程度開催。アンケート調査は4月～6月に実施予定している。

**意見** おためし移住制度、集落支援員、地域支援員の積極的活用やホームページの多言語化について、庁内運用ガイドライン整備や行政

**回答** おためし移住制度、集落支援員、地域支援員の積極的活用やホームページの多言語化について、庁内運用ガイドライン整備や行政



ふるさとテレワークの実施拠点として整備されたノルウェービレッジ。Yahoo (株)から今後の展開についての説明会。

ツールとしての運用を、しっかりと検討すべき。

**回答** 意見を参考に対応していく。

### 課税徴収の方針は

税務課

**質疑** 課税と徴収について、今年度の方針については。

**回答** 課税では、固定資産税の宅地や雑種地の課税誤りをしないよう努めていきたい。また、雑種地の中のグラウンドやテニスコートなどは、宅地並み課税になっている。今後使用状況で評価を下げていくべきものと考えている。徴収では、大口滞納者に対しては厳しく対応して来た。その効果が上がってきているので今後も続けていきたい。現年度分は、31年度以降口座振替制度を強化したい。納税者にメリットが出るような方策がないか事例も参考にしながら検討を進めていきたい。

### 乗合タクシーの土日運行は

#### 土日運行は

健康福祉課

**質疑** 乗り合いタクシー運行事業について、住民より土日の運

行もしてほしいという要望があるが対応は可能か。

**回答** 利用者アンケートにより、そのような要望は承知している。現時点での土日運行の予定はない。今後、試験的に期間を区切って運行を検討したい。

**意見** ふれあいセンターの補修工事について、同センターは教育課等も入り福祉以外にも利用されて第二庁舎化している。財産管理費の修繕費にすべきでは。

**回答** 蛍光灯をLEDに替えりーす料としたもので、期間は7



住民同士の支え合いや見守りなど生活支援サービスや住民主体の通いの場等が、地域で複数運営されることが求められている。

予算質疑

ここが聞きたい!!

今年ほど「みんなの予算」



雪害にあった天狗山荘。早期の復旧が望まれている。

年間対応年数は15年でリース化した方が970万ほど安くなる試算。また、第二庁舎化している事実はある。しかし管理については当初の利用目的や起債の関係上、健康福祉課の管理下にあるのでご理解いただきたい。予算仕訳科目については今後検討していく。

**質疑** 生活支援体制整備等補助事業については。

**回答** 住民同士の支え合いや見守りなど、生活支援サービスや住民主体の通いの場等の活動を行うう2名以上の団体に、活動費として

支援して20万円を予算化。食事会などの開催を提案。今後、地域へ団体を設立支援し、生活支援コーディネーターと共に地域からの相談に対応。

山小屋の改修にかかる費用は

観光課

**質疑** 天狗山荘と八方池山荘の改修については。

**回答** 天狗山荘には、昨年の雪害による復旧工事に1億円余り。財源は損害保険料5210万円、ふるさと白馬を応援する基金より1200万円、村債3720万円、一般財源を141万見込んでいます。

八方池山荘は外壁の老朽化に伴う補修工事に173万円。

**意見** 八方尾根保全協会の負担金を利用していたが、その補助も無くなってしまう。事業内容が充実して事業結果の評価も高いのでの継続してほしい。

**回答** 当初予算からは外してあるが、今後八方区とも検討。

**質疑** 観光局への負担金算定方式は。



八方尾根の植生回復作業の様子。地元民による地道な活動が成果を上げている。

都市計画調査の必要性は

建設課

**意見** 都市計画調査の見直しは5年に1回行っているが、その必要性はあるか。

**回答** 今後、高規格道路の村内ルートへの対応など、その機運は高まってきている。1年遅れだがこの事業に取り組み必要がある。

**回答** 今年度より算定方式を村全体のALPS花三昧等観光事業や自転車関連、公式パンフレットの作成など、事業費ベースに変更した。

**意見** サイクルツーリズムの周知をはかるべきでは。

**回答** 安曇野センチュリーライドなどは4000人強が参加。村民からの「おもてなし」が必要なことから、啓蒙や大会の広報に努めていきたい。

# 予算質疑

村道の白線を引く箇所については。

## 質疑

**回答** 通学路を優先的に、交通量の多いところから着手。

## ゴミ集積所の

## 今後の予定は

## 住民課

福祉医療給付事業については。

## 質疑

**回答** この事業は子ども、障がい者、ひとり親世帯を対象とした医療給付事業で、子どもは18歳までの医療費の無料化を継続し、負担軽減のため8月診療分から現物給付方式を採用。窓口負担は500円のみとなる。

## 質疑

小規模ステーション方式のゴミの集積所は、村内に12箇所あると説明があったが、今後増やす予定か。

## 回答

土地の確保や大きな集積場が作れないなど、それぞれの地区の事情も考え対応。今後、小規模ステーションは増えていく可能性はある。収集運搬回数を減らすなど、工夫をしながら様子を見ていく。

## スノーハープ太鼓橋の

## 架け替えは

## 生涯学習スポーツ課

**質疑** スノーハープ3号橋(太鼓橋)の架け替えは、恒久の橋とするのか。

**回答** 本年度予算で恒久の橋として圧雪車や車、人が安全に渡れるよう9000万円余りを見込んで更新。

**質疑** ウィング21の雨漏りやアリーナの床が滑りやすい等の苦情があるが、対応は。

**回答** 公共施設の管理計画に基づき優先順位を決めて対応。ただ、雨漏りは原因が究明出来ず対応に苦慮している。

**意見** 税外負担金のスキー選手育成金だが、区未加入者からの負担が無く、不公平感があるので村費で対応すべきでは。

**回答** 地区要望もあり、財政的に対応できるか総務課でも検討中。

## 新共同調理場移行の

## シミュレーションは

## 教育課

**質疑** 中学校の部活動支援員の具体的な役割は。

**回答** 以前の学校外部者では事故発生時の責任の所在が明らかでは無く、全国的に問題となっていた。法改正により、学校長の監督下にある支援員であれば、顧問の先生がいなくても対応が可能となる。今年度は、男女のバレーボール部やバトミントン部の大会から対応していく。

## 意見

新共同調理場の愛称やコンテナ車等のボディへのペイントなどに児童・生徒からのアイデア募集は。

## 回答

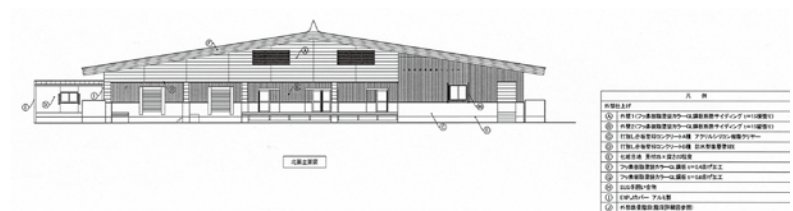
食育の観点からも対応したい。

## 質疑

調理運営のシミュレーションは。

## 回答

設備も変わるのでその操作方法等トレーニングを3週間程度予定。



新施設での操作等の調理トレーニングは3週間程度を予定。新しい給食センターの立面図(上)とパース(下)

## 子育て支援センターの

## 開設は

## 子育て支援課

**質疑** 子育て世代包括支援センターの開設は。

**回答** ふれあいセンター3階の子育て支援課内に7月開設予定。母子保健

コーディネーター、療育コーディネーター、相談員には保健師を配し、専門的な支援と

# 予算質疑

関係機関との連携をはかる。併せてスマートフォンやタブレット対応の子育て支援アプリを作成し無料で提供。母子手帳などへ利用し、妊娠期から18歳まで広く対応。

## 今後の農家への

## 支援策は

### 農政課

**質疑** 本年度より減反政策が廃止され水田への直接支払制度が無くなる。農家への支援策は。

**回答** 実質的な予算計上はしていない。農地の賃借料を農業委員会で購入する検討をしている。3月中には結論が出る。また、共同調理場への野菜の供給などで、地産地消や高収益作物をJAと共に推進。

## 小規模水道の

## 維持補修費は

### 上下水道課

**質疑** 小規模水道の維持補修費は。

**回答** 基本は所有する地元での負担。大規模な場合は村で対応。

### 全体討論

### 反対討論

3階トイレ改修工事請負費は議会費に

入れるのではなく、庁舎管理の財産管理費に入れるべき。  
▽賛成多数により原案のとおり可決。

### ●国民健康保険事業勘定特別会計予算

**質疑** 基金は1億4600万円ほどあるが、今後の予定は。

**回答** 被保険者数の減少や高齢化などにより、保険税の減少や高額医療の増加など基金運用は重要。しかし、県域化によりリスクは軽減されるので、今後の基金

は5000万円程度でも良いと考える。  
▽全員の賛成により原案のとおり可決。

### ●後期高齢者医療特別会計予算

▽全員の賛成により原案のとおり可決。

### ●下水道事業特別会計予算

**質疑** 公営企業会計への移行への進捗状況や人員体制は。

### 回答



本年度から子育て世代包括支援センターが開設予定。妊娠期から18歳までの切れ目のない支援が望まれる。

平成31年度4月に移行するため、今年度は固定資産の洗い出しや決算書の整理、貸借対照表の期首金額の確定などを行い、課職員上げて対応する。  
▽全員の賛成により原案のとおり可決。

### ●農業集落排水事業特別会計予算

**意見** 人件費の発生しない特別会計は必要ないのでは。

**回答** まだ公共下水道へ接続出来ないことや、補助事業の透明性を確保するために必要。  
▽全員の賛成により原案のとおり可決。

### ●水道事業会計予算

**質疑** 自動検針の普及は。

**回答** 近年、光ファイバーによるデジタル回線に変更になるケースが多く、アナログ回線の自動検針は全体の40%位。検針員による検針は60%位。今後、デジタル回線に対応したスマートメータ等の導入を検討。

**質疑** 水道ビジョンの進捗状況は。

**回答** 2ヶ月遅れで発注したため現在遅延している。更新事業は30年度から予定。計画の成果品が出来上がる時期によつては、31年度になってしまう可能性もある。

▽全員の賛成により原案のとおり可決。

総務社会委員会

●辺地対策総合整備計画の変更について

平成30年度以降の事業計画を追加するもので、内山地区のスノーハープの既存コースをサイクルスポーツに利用可能とするための改修を想定。

●サイクルスポーツ利用の具体的なプラン作成は。観光課と生涯学習ス

答

観光課と生涯学習ス

▽全員の賛成により可決。ポーツ課で調整中。

●長野県町村公平委員会共同設置規約の変更について

白馬山麓環境施設組合が白馬山麓事務組合に名称変更することに伴う改正。

▽全員の賛成により可決。

●大町市及び白馬村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について



スノーハープのメインコース及び太鼓橋付近を東京オリンピック合宿誘致も視野に入れた改修工事設計。

大北5市町村の連携自立圏

事業で、新たに認知症初期集中支援チーム、および未就学児の眼科屈折検査を平成30年度から実施するため、協約の事業項目を追加。

▽全員の賛成により可決。

●ふるさと白馬村を応援する条例の一部を改正する条例について

寄附者の意向を反映するため、条例の事業区分を一部変更し、新たに三区分を追加。

▽全員の賛成により可決。

●嘱託職員の任用および勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告に基づいた職員

給料の引き上げに伴い、嘱託職員の各区分の報酬を月額400円引き上げるものなど。

●有資格職種に比べ、白馬高校寮嘱託員、集落支援員の報酬が高いのでは。

●白馬高校関係は、生徒との関わりや勤務場所での精神的な労働性などから妥当と考える。また、他の事例なども参考にしている。

答

白馬高校関係は、生徒との関わりや勤務場所での精神的な労働性などから妥当と考える。また、他の事例なども参考にしている。



図書館で働いている嘱託職員（図書館司書）

意見

有資格職種の実際の手取りが低い。国も働き方改革で動き出しているので、内容を精査して対応してもらいたい。

討論

有資格系の嘱託職員に比べ、追加する区分の嘱託職員の報酬が高すぎるので反対。

▽少数の賛成により否決。

●特別職の職員で非常勤のもの報酬に関する条例の一部を改正する条例について

改正学校基本法により部活動指導員を追加し、報酬額を

時間1600円とするもの。

白馬中男女バレー部、バドミントン部に配置。

▽全員の賛成により委員会所管事項は可決。

●職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について

実費支給の場合の職員旅費を1km20円と定めるもの。

●自家用車を使った場合の適用か。また、報告方法は。

その通りで、様式を定めて報告してもらい、距離の整合性を図る。

答

その通りで、様式を定めて報告してもらい、距離の整合性を図る。



# 総務社会

▽全員の賛成により可決。

●国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

平成30年度の国保制度改革による県納付金に充当するための課税額を項立てする改正。

▽全員の賛成により可決。

●保育所設置条例等の一部を改正する条例について

未満児保育のニーズの高まりから、定員数の3歳以上児と未満児の内訳をなくし、併せて、休日保育と一時保育の利用料金の引き下げをおこなうもの。

▽保育料引き下げの経緯は。

●答 平成21年度制定以来改正はなかった。これで大北の他市町村とほぼ同額となる。

●問 定員数の内訳をなくすことによる、保育士や施設の受け入れ体制は。

●答 保育士の確保に努めるとともに、部屋も臨機応変に対応したい。

▽全員の賛成により可決。

●後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

後期高齢者医療の保険料の微

取について、法律の改正に伴う改正。

▽全員の賛成により可決。

●廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について

名称を白馬山麓環境施設組合から白馬山麓事務組合に改称。

▽全員の賛成により可決。

●国民健康保険条例の一部を改正する条例について

平成30年度から国保事業の事務の一部を県も担うことから、村の事務と県の事務を区分するための改正。

▽全員の賛成により可決。

●消防団員公務災害補償条例の一部を改正する条例について

消防法からの引用条文の明確化をするための改正など。

▽全員の賛成により可決。

### 補正予算

白馬高校支援事業

1031万円増額

●一般会計補正予算

歳入歳出予算総額から、それぞれ1億4358万1千円を減額し、予算総額を69億4325万6千円とするも

の。

ふるさと納税は当初予算より

寄附が多くなり返礼品関係の費用を648万円増額。この増額をうけ、スポーツ振興基金に1000万円、環境保全基金に500万円を積立。

●問 テレワーク事業の進捗状況、業務場所となるノルウェービレッジの施設整備状況は。

●答 委託事業者との契約は2月下旬に行った。工事は終了し、3月半ばに国の検査を受

ける。

テレワークは何社入って

●問 いるか。また、ふるさと納税の業務委託の状況は。

●答 テレワークはヤフー(株)を入れて3社。国の交付金額は800万円程度。ふるさと納税業務は契約日以降の返礼品の業務を委託。

ふるさと納税の状況は。

●問 2月末で寄附額は約2億100万円。

▽全員の賛成により委員会所管事項は可決。

●国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

歳入歳出予算総額からそれぞれ1484万7千円を減額し、予算総額を14億2983万1千円とするもの。

▽全員の賛成により可決。

●後期高齢者医療特別会計補正予算

歳入歳出予算総額に、それぞれ75万円を追加し、予算総額を8390万2千円とするもの。

▽全員の賛成により可決。

### 陳情・請願

●陳情第2号

グラントデザイン作成における連携強化、小規模な景観形成条例、国・県よりの補助金事業の要請をお願いするというもの。

▽多数の賛成により継続審査。

●陳情第3号 国に対して生活保護費引き下げ中止を求める意見書提出の陳情

▽多数の賛成により趣旨採択。



訓練に励む消防団員

# 除雪事業 4652万円の増で 総額3億1215万円 除雪委託費は2億4314万円

## 産業経済

### 産業経済委員会

●歴史的古民家(庄屋まるはち)の指定管理者の指定

指定管理者は株式会社G・Cで契約期間は平成30年4月1日から5年間。

▽全員の賛成により可決。

●村道路線の認定

村道1125号線を農道より村道に認定するもの。

▽全員の賛成により可決。

●工事委託に関する変更協定の締結

白馬村公共下水道浄化センターの建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定で、期間は平成29年度から平成30年度まで。変更前協定額から5200万円を減額し、協定額を2億3800万円とする。

▽全員の賛成により可決。

●特別職の職員で非常勤のものへの報酬に関する条例の一部を改正する条例(所管事項)

農業委員会による農地利用の最適化に向けた積極的な活動を推進するため、農業委員及

び農地利用最適化推進委員の活動実績と成果実績に応じて、通常の報酬とは別に報酬を支給するための条例の一部改正。

▽全員の賛成により委員会所管事項は可決。

●山小屋条例の一部を改正する条例

荷揚げのためのヘリコプター料金高騰のため、大人の宿泊料金を改定するもの。

来年度消費税が2%アップすることにより、

来年度も料金改定をすることが予想される。それも見越して今回もう少し増額するのが良いのでは。

**答** 消費税増税のことまでは想定していなかった。

再度検討する。

▽全員の賛成により可決。

●村営住宅管理条例の一部を改正する条例

公営住宅法施行規則の改定並びに所得税法の改正によるもの。

▽全員の賛成により可決。

### 補正予算

除雪事業費(追加補正も含め) 4652万円増額

●一般会計補正予算



新規購入した除雪ドーザー

農地費の818万7千円の減額は、ほ場整備事業の調査設計委託料で、北城南部地区の面積が57haから40.8haへの変更など。

除雪事業費(追加補正も含め)4652万1千円の増額。

中学校給食センター取付道路は土地の買い上げができていないため、7084万9千円の減額。

### ○観光課

観光施設整備費の天狗山荘工事請負費1707万4千円の減額。観光戦略事業の180万2千円の増額は、観光局の税務調査による追徴金と加算金。

商工振興費の212万9千円の増額は、創業支援事業補助金。

### ○上下水道課

下水道事業特別会計繰出金1563万8千円の減額。

▽全員の賛成により委員会所

管事項は可決。

●平成29年度下水道事業特別会計補正予算(第4号)

1026万1千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ7億5372万8千円とするもの。

下水道区域外流入分担金に537万7千円の増額。

一般会計繰入金563万8千円を減額。

一般管理費709万円の減額は消費税及び地方消費税等の清算によるもの。

下水道区域外流入分担金の件数は、3件。

**問** 下水道区域外流入分担金の件数は、3件。

▽全員の賛成により可決。

●平成29年度水道事業会計補正予算(第5号)

収益的収入の営業収益に299万5千円を追加、2億7875万1千円とし、収益的支出の営業費用を313万8千円減額し、2億6789万5千円とするもの。

▽全員の賛成により可決。

●陳情13号 国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書

▽多数の賛成により採択。

建築物の設計・工事監理業務の発注に際し、「告示第15号」に準拠した契約が行われるよう陳情。

▽全員の賛成により採択。

●陳情14号 最低制限価格の設定に関する陳情書

建築物の設計・工事監理業務入札時の「最低制限価格」を、発注予定額の90%以上に設定するよう陳情。

▽全員の賛成により採択。

●陳情15号 耐震診断・耐震改修に関する陳情書

自治体の耐震診断業務の発注に際しては、建築士法の規定に基づき国土交通大臣が定めた業務報酬基準に準拠した契約が行われるよう陳情。

▽全員の賛成により採択。

●陳情1号

建築リフォーム補助金の創設。国、県より補助金事業の要請。

**問** 以前と全く同じ内容の補助金を希望されているのか。

**答** 前回と同様に一般住宅及び店舗併用住宅である。

▽多数の賛成により採択。

討論・付帯決議・質疑

議案8 嘱託職員の任用及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例

反対 田中榮一議員

村では多くの嘱託職員を雇用し行政運営の大きな力。免許あるいは資格を取得しなければ従事できない職種もあり、勤続年数が長期にわたり貢献してきたにもかかわらず、報酬に反映されていないのが現状。それらの職種の報酬月額に比べ、新たに加える2つの職種の報酬月額は、バランスを欠くもの。この議案は今までの職種の値上げと追加区分等の2つの改正内容が一括提案されてもいることから反対。

賛成 加藤亮輔議員

2年前の3月議会で、非正規職員の賃金を正職員に近づけ、生活できる賃金にと修正案を提出。しかし少数で否決。16万5000円から税金、社会保障料を引けば手取りは13万円前後くらい。国家資格者の栄養士や図書館司書でも嘱託採用で手取りは16万円前後。夫婦共働きなら生活できるが、単身者の場合は非常に苦しい生活実態。4000円のアップ程度では、正職員との格差は拡大し、嘱託職員の待遇改善には程遠い内容であることから反対。

賛成 津滝俊幸議員

村での一般職員よりも嘱託職員の割合が高く、日々の行政業務にあたってはいる。村民から見れば、正規職員と嘱託職員の見分けはつかず、同じ責務をおっているので一般職同様に人事院勧告の対象とすべき。よってこの条例改正には賛成。

発議者：太田伸子議員

議案第24号

平成30年度白馬村一般会計予算

神城断層地震災害復旧のため、近年は大型予算が継続。この先、学校給食センターの建設や、新図書館建設及び新道の駅建設構想が検討されている。今後の財政運営を考慮すると、取り崩した財政調整基金の繰入れが必要。そこで、予算執行にあたり以下を決議する。

1. 村債の大きなふくらみや財政調整基金の取り崩し、事業の外部委託等、財政運営に不安がある。村の財政を熟慮して、効果的な事業執行に努力していただきたい。
2. 庁舎3階のトイレ改修工事は、庁舎維持事業科目の変更を要望。

議案24 平成30年度 白馬村一般会計予算

反対 加藤亮輔議員

予算書の書き方は地方自治法施行規則15条第1項に決められている。今予算の中でトイレの改修工事費及び設計費545万円が、議会費の中に記載されている。通常トイレなど庁舎の改修工事は、総務費の財産管理費に記載するのが常識。予算審議過程の中で幾度となく村長に修正を申し入れたが、無視の態度。予算の編成権は村長のみで専属しているが、修正を認めない。科目変更しない。規則無視の予算案には反対。

賛成 伊藤まゆみ議員

この予算の議会費に含まれる、設計管理委託料と工事請負費の合計545万円は、障がい者や子連れの方が利用できる多目的トイレの併設と、洋式トイレへの改修工事費。障がい者に対する福祉制度の充実が必要と考え、反対するものではない。しかし①庁舎3階トイレの使用頻度が低い②起債をしてまでつくる緊急性がない③議会費として計上すべき事業ではない。以上3つの理由から反対。

賛成 篠崎久美子議員

本予算では第5次総合計画の基本目標推進と総合戦略の指標実現、住民の暮らしやすさを目指し、子育て世代包括支援センター、公共交通の調査、自転車観光、ほ場整備、新図書館建設の基本構想、新ごみ処理施設稼働に伴う体制整備など様々な事業が計画されている。議会費の仕分け適正化は必要だが、予算全てを否決する理由にはならない。人口減少などで自主財源の増加は望まず財政運営は厳しい。一層の行財政改革を心掛けた事業実施を望み、賛成。

一般会計補正予算 質疑

篠崎久美子議員

問 この補正で財政調整基金を3億9926万4千円取崩し、基金繰入額は3億9926万3千円となる。条例では、基金は財源が著しく不足する場合などに限り処分可能とあるが、取り崩しの基準は。答 定めている。具体的な基準は定めていない。

問 財政調整基金の積立目標額は。答 定めていない。できる限り多く積立てたい。問 今後の健全財政への姿勢は。長期的財政計画の作成は。答 財政調整基金、臨時財政対策債に注視し、特別交付税も申請していく。財政計画は概ね3年間で作成。

陳情1 建築リフォーム補助金の創設 国・県より補助金事業の要請

反対 田中麻乃議員

陳情要望にあった「住宅リフォーム補助事業」が実施された3年間は、ゆとりがあった財政状況下であったことから実施できたもの。直近の財政状況では、村債残高は増加傾向にあり、前回と同じ内容の補助金創設は、短期的に許さない状況にあると考える。建設リフォーム補助金を検討するのであれば、それを通じて観光白馬のまちづくりという重要施策に寄与するものになるべき。検討すべき余地が多々あるため趣旨採択にすべきと思うので反対。

賛成 伊藤まゆみ議員

前回の3198万円のリフォーム補助で費用対効果は2億3180万円と7倍もあり、地域の経済活性化に貢献。世界水準のリゾートとしてはあまりにお粗末なまち並みを、外観の修繕に必要な塗料や外壁材を扱う企業にターゲットを絞った「企業版ふるさと納税制度」を利用して整備し、商品力の向上をすべき。県でも省エネルギー化、バリアフリー化、県産材を使用した住宅の性能向上リフォームを推進。よってこの陳情の採択に賛成。

賛成 加藤亮輔議員

陳情3 「国に対して、生活保護費引き下げ中止を求める意見書提出の陳情」

賛成 加藤亮輔議員

格差の拡大に伴い、相対的貧困ラインの年収は122.5万円、月収約10.2万円、6に1人が貧困。この状況下、事故や病気、親の介護や身体的理由から仕事を休めばたちまち生活苦に陥る。この対策が憲法25条に基づく生活保護制度。しかし政府は、高齢加算の段階的廃止、2013年に生活扶助を最大10%平均6.5%削減、更に住宅扶助、冬季加算の削減を続け、今年さらに5%の生活扶助を削減。意見書の提出はすべきで賛成。

付帯決議の動議

補正後の予算額と当初予算との差額

	現在額	当初予算	増減
一般会計	69億3250万円	65億5500万円	+3億7750万円
国民健康保険	14億2983万円	14億4020万円	-1036万円
後期高齢者医療	8390万円	8270万円	+120万円
下水道	7億5372万円	7億5561万円	-188万円
水道(水道事業費用)	2億9946万円	3億68万円	-122万円

注意：上記金額は千円以下を切り捨ててあるため、合計に誤差が出ています。水道事業は収益的支出額です。

● 3月定例会 議決結果 ●

件名	議決結果
白馬村辺地対策総合整備計画の変更について	可決 賛成:全員
白馬村歴史的旧民家(庄屋まるはち)の指定管理者の指定について	可決 賛成:全員
長野県町村公平委員会共同設置規約の変更について	可決 賛成:全員
大町市及び白馬村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	可決 賛成:全員
村道路線の認定について	可決 賛成:全員
工事委託に関する変更協定の締結について	可決 賛成:全員
ふるさと白馬村を応援する条例の一部を改正する条例について	可決 賛成:全員
白馬村嘱託職員の任用及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例について	可決 反対:丸山、伊藤、加藤、田中(榮)
白馬村特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部を改正する条例について	可決 賛成:全員
職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決 賛成:全員
白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決 賛成:全員
白馬村保育所設置条例等の一部を改正する条例について	可決 賛成:全員
白馬村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	可決 賛成:全員
白馬村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について	可決 賛成:全員
白馬村国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決 賛成:全員
白馬村山小屋条例の一部を改正する条例について	可決 賛成:全員
白馬村営住宅管理条例の一部を改正する条例について	可決 賛成:全員
白馬村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	可決 賛成:全員
平成29年度 白馬村一般会計補正予算(第8号)	可決 賛成:全員
平成29年度 白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)	可決 賛成:全員
平成29年度 白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決 賛成:全員
平成29年度 白馬村下水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決 賛成:全員
平成29年度 白馬村水道事業会計補正予算(第5号)	可決 賛成:全員
平成30年度 白馬村一般会計予算	可決 反対:伊藤、加藤
平成30年度 白馬村国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決 賛成:全員
平成30年度 白馬村後期高齢者医療特別会計予算	可決 賛成:全員
平成30年度 白馬村下水道事業特別会計予算	可決 賛成:全員
平成30年度 白馬村農業集落排水事業特別会計予算	可決 賛成:全員
平成30年度 白馬村水道事業会計予算	可決 賛成:全員
追加議案	
工事請負契約の締結について	可決 賛成:全員
平成29年度 白馬村一般会計補正予算(第9号)	可決 賛成:全員
平成29年度 白馬村下水道事業特別会計補正予算(第5号)	可決 賛成:全員
白馬村固定資産評価審査委員会委員の選任について	可決 賛成:全員

● 請願・陳情文書 ●

提出者	住所	要旨	審査結果
一般社団法人長野県建築士事務所協会 一般社団法人長野県建築士事務所協会 大北支部	長野市 白馬村	国土交通省告示第15号の履行に関する請願書	採択 賛成:全員
一般社団法人長野県建築士事務所協会 一般社団法人長野県建築士事務所協会 大北支部	長野市 白馬村	最低制限価格の設定に関する陳情書	採択 賛成:全員
一般社団法人長野県建築士事務所協会 一般社団法人長野県建築士事務所協会 大北支部	長野市 白馬村	耐震診断・耐震改修に関する陳情書	採択 賛成:全員
白馬建築業組合	白馬村	陳情書(建築リフォーム補助金の創設、国・県より補助金事業の要請)	採択 採択に反対:丸山、田中麻、津滝
白馬建築業組合	白馬村	陳情書(ランドデザイン作成、白馬村小規模景観形成条例の改善化、国・県より補助金事業の要請)	継続審査 継続審査に反対:津滝
大北生活と健康を守る会	大町市	国に対して生活保護費引き下げ中止を求める意見書提出の陳情書	趣旨採択 趣旨採択に反対:伊藤、松本、加藤

議決結果

# 一般質問

(紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

## 安全で活力ある 村づくりをめざして 村政を問う

臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしています。

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

白馬村は1問1答方式で、1人60分の制限時間内であれば、質問回数に制限はありません。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしています。

### 質問内容

- ・新たな観光財源で想定する財源規模は
- ・新リサイクルセンター建設の方向性は
- ・村民の懐を温めて、観光財源確保を
- ・子育て世代包括支援センターの開始は
- ・ごみ処理広域化の準備状況と課題は
- ・ケーブルTVで財源検討審議会の放映を
- ・平成30年度予算で重要視した事業は

### フォトニュース



### 旅立ちの日に

新たな希望を胸にし、巣立ちの時を迎えた教え子の姿を見つめる先生。その胸にはどんな想いが広がっているのでしょうか。今日は忘れられない「旅立ちの日」。

### 問 新たな観光財源で想定する財源規模は

答 約1億円から2億円規模と考えている



篠崎久美子 議員

【新たな観光財源を考える  
検討会】

問 検討会の立ち上げ時期と  
委員構成、答申までの期  
間は。

答 4月または5月に第1回  
を開催予定。観光、公共政  
策、地方財政専門の大学教授等有  
識者3名、村内観光関係団体代表  
者5名を予定。期間はおよそ半  
年で、透明性の確保も図る。

問 必要と考える財源額と使  
途は。

答 使途は景観整備、観光案  
内施設整備、地産地消促  
進の商品開発、温泉施設・宿泊施  
設の魅力向上、統一看板、クレ  
ジットカード等の決済環境整備、  
違法民泊の監視・摘発、観光統計

データの取得・分析、情報発信の  
強化などを想定。現時点では約  
1億円から2億円程度と考える。

問 宿泊税のみの検討か。

答 入湯税の見直しや分担金  
など、観光財源の在り方  
全体を検討。

問 住民の多様な意見の反映  
方法は。

答 検討会への観光関連団体  
からの委員参加、各事業  
者のヒアリング、パブリックコメ  
ント等で反映する。

問 これらの重要企画は、専  
門的な部署をつくり対応  
することが必要では。

答 新年度は総務課企画調整  
係と政策企画係の組織改  
正をする。政策係で新たな財源  
確保、公共交通、公共施設等の総  
合的計画調整、移住定住、新たな  
産業に関する事項を扱う予定。

### 問 館長公募の 時期は

答 地域おこし協力隊を  
想定、31年度採用

【新図書館の建設検討】

問 新年度の具体的スケ  
ジュールは。

答 現在の検討委員会からの  
答申は30年度中。より専  
門的見地から有識者会議を新た  
に設置。施設整備等の基本構想  
策定の委託料を予算化して、まち  
づくりの方向と新図書館建設構  
想を策定。

問 新年度予算に人件費計上  
がないが館長公募は。

答 30年7月に地域おこし協  
力隊員の募集を検討。構  
想段階から参画してもらう予定  
で採用は31年度。

問 施設の複合化は。

答 ワークショップでの住民  
意見や有識者会議の意見  
を参考に検討。

問 場所は村づくりに非常に  
重要だが、検討は。

答 村有地を最優先候補とし、  
私有地の取得も視野に30  
年度中に検討開始。

### 問 平成30年度からの 第7期介護保険料は

答 基金繰入で負担軽減を  
図り、5,700円へ

【介護保険改正など】

問 第7期の介護保険料は。

答 基金繰入で3,000円ほど  
負担軽減したが、第6期  
の月額5,500円から5,700  
円になる。

問 大北5市町村が組織する  
認知症初期集中支援チ  
ームとは。

答 重度で家族対応に苦慮し  
ている場合など専門的支  
援が必要なケースに適切に対応

問 日常生活支援総合事業の  
実施状況は。

答 助け合いの気風づくりが  
課題、実施団体への補助  
金を新たに創設する。大北地域  
内の取り組み事例集を作成、配布  
する。

問 地域包括支援センターは  
住民に身近であってほし  
い。さらなる周知は。

答 地域に積極的に向向き、  
相談窓口であることを周  
知する。



介護や福祉の身近な相談窓口・  
役場1階にある地域包括支援センター

**問** 新リサイクルセンター建設の方向性は

**答** 名義を整理し、契約を締結して進める



横田孝穂 議員

**【新リサイクルセンター建設とごみ処理】**

**問** 8月からの稼働を目指したセンター実現への経過と方向性は。

**答** 清掃センターの敷地は89名の共有名義で、昭和58年に12名の実質地権者と賃貸借契約をして使用してきたが、広域連合が土地名義人全員の同意が必要と判断したため、建設を延期し、裁判手続きにより名義整理を進める。

**問** 89名の法定相続人は何名。

**答** 587名である。また、登記名義人89名のうち3名は相続済みである。89分の1の

持分を白馬山麓環境施設組合が所有する。

**問** 地権者12名に集約した経過・それを担保するものは。

**答** 登記簿上の所有者は89名になっているが、未相続になっている土地もあり、当時の地区役員の連署による贈与(贈進※)証書と念書に12名の所有を確約する記載があり、これを根拠として昭和58年に12名と契約締結した。

※当時の書類には贈進証書と記載されている

**問** 昭和58年7月1日に契約が締結されたが、同年10月5日の念書しか存在していない。契約締結の見解は。

**答** 地域の約束として、昭和48年に贈与証書が締結されており、それをひとつの根拠として、当時契約をしたと認識している。

**問** 年間借地料596万円。

その半額は迷惑料で毎年支払われているが、どのような迷惑なのか。

**答** 周辺地域への大気汚染物質の影響、悪臭、騒音等や資産価値の低下が挙げられる。

**問** 清掃センター正面に面するオリンピック道路も使用料金に含まれているのではないか。

**答** 現状では借地の中に含まれており、土地名義の集約ができ次第、所有権移転登記に向けた手続きをする。

**問** 報道によれば、建設時期めど立たず、登記名義人の承諾が難航とあるが。

**答** 現在建設を進めるための手続きをしている。村側の意図が伝わらない報道をされた点については深くお詫ひする。

**問** 新ごみ焼却施設稼働に合わせた村のごみ集積や分別・ごみ出しルール変更など、問題点や注意点は。

**答** 新たに作られる事業系ごみ専用袋を含め、広域連合がごみ袋を製作する。販売は7月の予定。新施設の工事は延

期となるが、現在の焼却施設の活用により利用者への影響が最小限になるよう努め、地区要望も踏まえて対応する。

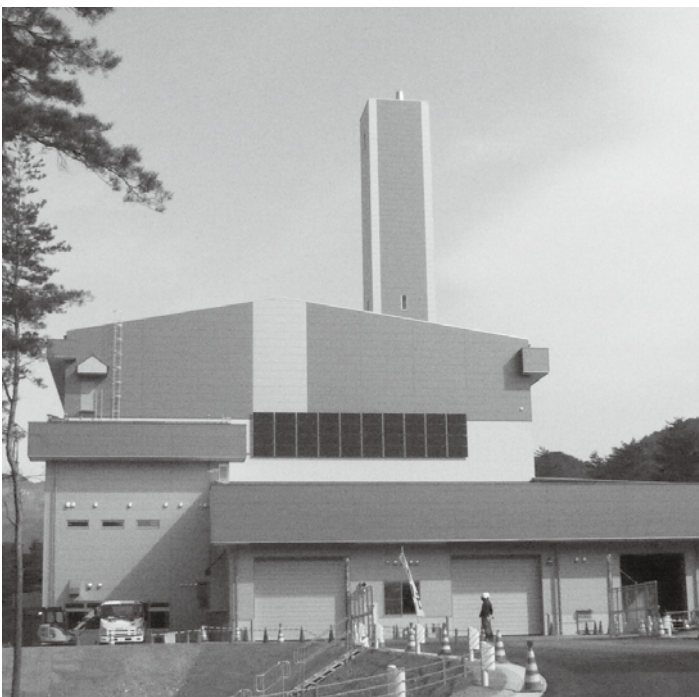
**問** 国調の中部地区終了で総合的判断とは

**答** 調査結果を税に反映するのが望ましい

**【国土籍調査】**

**問** 経過並びに実施状況と見通しは。

**答** 昭和63年度より佐野地区・神城1区から事業を開始し、135.23k㎡が調査対象面積である。現在の方針としては平田地20.06k㎡の調査完了に取組んでおり、平成29年度は八方地区南部・北城21区の調査に着手し127.7k㎡となった。進捗状況は63.7%で、未だ事業完了の時期が見通せない状況である。



8月稼働予定の新ごみ処理施設。大町市源次地区の「エコパーク」

### 問 村民の懐を温めて、観光財源確保を

### 答 新プロジェクト開始には財源が必要



加藤亮輔 議員

【観光地経営計画と村づくり

問 村の観光事業は、村民の暮らしに直結している。28年12月議会あいさつで、村長は観光地経営計画を成就するには、全庁体制、全村体制が必要と述べている。全庁体制をどの様に作るのか。

答 多方面の施策があり、いろんな課が係っている。課内だけでは推進できないので情報を早く伝達し、次年度予算に反映できる事業評価体制をとりたい。

問 経営会議の役員15名のうち、女性1名は論外。5名くらいにし、発言し易いようにすべき。また10年先を見据えた計

問 現在のインフラ整備と宿泊施設で宿泊税を導入する地力があるか。

答 宿泊税ありきではない。村が観光で生きて行くために、黙っているだけでは衰退していく。いろんな意見を聞き、前へ進める必要がある。

問 財源の作り方の問題だが、軽井沢、山ノ内、ニセコ、倶知安、箱根町と白馬村の宿泊・飲食業の売上額・従業者数、観光客の入込数、地方税額(資料説明)等を比較すると、厳しい実態が浮かび上がる。同時に、今後の観光客のノビシロが期待できるとも考えられる。新しい負担を求めるよりも、村民の懐を温かくする政策を進め、地方税の増収を図るべきでは。

問 「村の核となるスキー場と宿泊拠点の再生プロジェクト」について、八方、和田野、山麓区は、インバウンドの影響から外国資本に押され、平成9年と29年の年少人口0〜14才を比較すると、八方区は106人が54人に、和田野区は32人が13人、山麓区は16人が4人に激減。この3地区は商業地区とみなすのか、それとも子供の声が聞こえる地域づくりをめざすのか。

答 商業地域であつても子供と元気な年配者がいる、バランスの取れた活気のある地域づくりをめざしたい。

問 村長は、県が策定する民泊条例、規則にどの様な制限項目を要請したか。

答 村は、6つのスキー場周辺地域の道路幅の狭い地

域と別荘地を地図上に表示。制限期間は12月〜3月、但し、家主居住型は規制の対象としないとのこと。



村の観光地経営計画の各種事業を企画、実施する心臓部(観光課・観光局)。もっと表に出て発信して頂きたい。



**問** 子育て世代包括支援センターの開始は

**答** 7月からサービス提供できるよう準備



田中麻乃 議員

【子育て世代包括支援センター】

**問** センター開設に向けてのスケジュールは。

**答** 人員体制等を4月に整え、3か月間の準備期間を経て7月からサービスの提供ができるよう組み立てている。

**問** センター立ち上げによる住民にとってのメリットと周知方法は。

**答** 妊娠から出産、子育てまでがワンストップで相談できること。センターに来るだけでふさわしい相談相手が見つかり、専門職がコーディネートすることで必要なサービスを効率的に提供できる。周知についてはHPや広報誌、来年度から運

用開始する子育て支援アプリも活用。

**問** センター設置の予算の組み立ては

**答** 国・県・村が各3分の1を負担し、子ども・子育て支援交付金を活用。また、各種事業では健康福祉課が今年度から実施する産前産後サポート事業や産後ケア事業においては母子保健衛生費国庫補助金を活用し保健予防費に充当するといった予算の組み立てをしている。

**問** ジュニア世代からの選手育成について今後の考え

**答** 指導体制を充実させるため、体育協会やスキークラブ等の関係団体と連携して整備する。各団体共通の課題は、指導者不足や少子化や競技の多様化等に起因する部員不足。今後は指導者の養成など単一の団体や機関ではなく、村全体で仕組みを構築するよう取り組む。

**問** ふるさとテレワークの進捗状況は

**答** 新年度から本格始動に向けて準備中

**問** スポーツ環境整備への今後の考えは

**答** 通年リゾートのスポーツ整備を目指す

**問** 【スポーツ振興】

地域の特性を活かしたス

ポーツ環境の整備についての村長の考えは。

**答** 白馬村の自然の中でしか経験できないスポーツを通して、四季に応じてスポーツを選択できる環境が重要と考えている。特にマウンテンバイクやサイクリング等類稀なる山岳景観を有効的に利用できるような通年リゾートを目指す。

【フルウェービレッジの活用】

**問** ふるさとテレワーク事業の概要は。

**答** ①公共施設の有効活用。②仕事・雇用の創出。③交流の場の創出。④IT推進教育。⑤地域活力の推進の5つの観点から今回採択された事業概要であり、本事業のめざすところである。

**問** ふるさと納税業務をヤフー(株)へ委託した理由と予想している効果は。

**答** 業務が煩雑になり担当職員のみでは新たな企画に手が回らず、業務に支障が生じている。県内でも多くの寄付額を集めている自治体の多くが外部委託をしている。ヤフー(株)はテレワーク事業実施に当たりコンソーシアム<sup>注2</sup>を組んでいることもあり、それぞれの相乗効果を狙っている。ノルウェー

ビレッジを活用して業務を行うことで、地域内の生産者・事業者に着目した形で返礼品の魅力向上を図れるものと期待している。

注1: 情報通信技術(IT=Information and Communication Technology)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。  
注2: 互いに力を合わせて目的に達しようとする組織や人の集団。共同事業体。

国際山岳観光資源×テレワークによる「しごとづくり・ひとづくりプロジェクト」

実施地域	長野県白馬村	補助事業者	長野県白馬村
コンソーシアム名	白馬村ふるさとテレワークコンソーシアム		
コンソーシアム参加機関名(下は代表機関)	長野県白馬村、ヤフー株式会社、SBドライブ株式会社、長野県		
地方移動者数	従業員: 2名以上 個人: 未定	地元ワーカー数	従業員: 10名以上 個人: 20名以上
事業概要	長野至輪渡にノルウェーから譲り受けた村有施設を活用し、整備した拠点において連携協定を締結しているヤフー株式会社等の社員がテレワーカーとして都市部の業務を行うとともに、地元ワーカーを雇用することで、住民が望む安定した通年雇用及び観光業向けに人的資源を活用する「一人多役(マルチワーク)」に対応できるフレキシブルなパートタイムワークを創出する。同時にフリーランスの移住者や長期滞在のテレワーカーが利用できるコワーキングスペースを整備し、国内外からの来訪者と住民との交流の場とする。また、拠点利用者が地域の子ども~大人に教育を行うとともに、連携協定を締結している信州大学や白馬高校との協働拠点とすることで、観光活性化も資する「人材育成及び若者の地域への定着を推進する。本事業により、観光産業となっている地域の雇用に関する課題を解決し、それぞれのライフスタイルに合ったしごとと居場所を確保して一人ひとりが輝く地域を創出するとともに、多様な人々の交流から知識と経験を蓄積することで地域の活力を創出する。		



総務省の平成29年度予算ふるさとテレワーク推進事業に係る採択候補先に白馬村が選ばれた

### 問 ごみ処理広域化の準備状況と課題は

答 減量目標はぎりぎり達成している



丸山勇太郎 議員

【ごみ処理広域化本格実施に向けての対応状況】

問 白馬村としての準備がどこまで出来ているか。残っている課題は。

答 地区集積場で収集に支障をきたす報告はないが、必要箇所の整備は今後も進める。宿泊施設等事業者の業者委託は着実に進んでいる。アパート住人対策には、大家へのアンケートや戸別訪問を実施。大家を通じてガイドブックは行き渡らせた。

問 広域化でこれからのごみ処理は新しい時代に入っていく。今回だけは郵送してもガイドブックを全世帯に行き渡らせてほしい。

答 戸別投げ込み方式もあるが、郵送は案としては承る。

問 未だに集積場を造れていない地区がある。みそら野区などで認めた小規模ステーション方式は数が多くなると収集経費の問題があるが、経費は度外視して進めるのか。

答 地区集積場が無理な地区では、この方式で隣組単位ぐらいではお願いしたい。ただし集積場も諦めてはいないのでも並行して進める。

問 業者聞き取りで集積場が明らかに不足する地区として、白馬町区と飯田区が上がっている。集積場を造れないでいる地区と併せ、早々に行政が介入して取り組むべき。

答 完全でない地区は確かにある。曜日ルールの徹底と、地区と話し合いながら拡充や新設を考えた。8月以降の清掃センターでの受け入れ周知も進める。

問 ごみ出し時間の前日夕方6時からは、日が短くなるに暗すぎて、お年寄りや生活弱者には厳しいルール。利用者の利便性を優先して欲しい。

答 要望は聞いているが、他自治体と比べれば逆に長いという意見もある。定着した今の時間ルールの中で徹底を図り、高齢者や介護支援者には地区ごとに柔軟なルールで扱いたい。

問 ごみ分別の啓蒙は子供たちこそ教育としてやるべき。複数学年で機会を設けてほしい。

答 良い提案なので検討する。

問 新年度におけるごみ処理の取り組みは

答 集落支援員を一人増員する

問 行政区問題の新年度での取り組み

答 行政区問題の解決に向けて

て新年度での取り組みは。特に行政公報が行き届かないことは根幹的任務に関わる問題だが。

問 集落支援員を一人増員する。加入率80%を目指して区加入のメリットをお知らせしていく。役員の負担軽減では2つを見直し、農家組合長は調整中。広報の不備は新年度にホームページのリニューアルを実施。

答 集落支援員を一人増員する。加入率80%を目指して区加入のメリットをお知らせしていく。役員の負担軽減では2つを見直し、農家組合長は調整中。広報の不備は新年度にホームページのリニューアルを実施。

問 集落支援員の仕事が見えない。広報は今のままで絶対ダメ。受動的に行き渡らせるのはやはり紙媒体(広報誌)。利用が期待できるスマホ防災アプリの実施時期は。

答 整備方針は出来ていて、実施に向けて研究中。

問 整備方針は出来ていて、実施に向けて研究中。



リサイクル物の品目ごとに置き場所を定めた沢渡区のごみ集積場 理想的であり他の模範となる事例

**問** ケーブルTVで財源検討審議会の放映を  
**答** 他の検討委員会とのバランスを考え検討



伊藤まゆみ 議員

**【観光財源検討】**

**問** ふるさと納税業務を大手の外部企業に委託するが、このような大切な自主財源を観光財源に充てることを考えなかつたのか。

**答** 外部委託により、職員が新規の企画・商品開発等に専念できる。メニューが充実することで寄附金の増額が見込め、それが新たな財源になると考える。

**問** この外部委託先とノルウェービレッジの賃貸借契約をした際の契約内容を、PDC Aサイクル<sup>注1</sup>で検証したのか。

**答** ノルウェービレッジの利用がなかなか進まないとの序内検討の結果や、地権者から

有効活用を要望され、ふるさとテレワークに手を上げた。

**問** 宿泊業者の意見の中に「職員の給与が高い。まずは自分達の身を削り努力してから、村民に税負担をお願いすべきだ」とあるがどうとらえるか。

**答** 当村の人件費総額は、他の同規模の自治体と比べて相当程度低い水準。

**問** 村全体の老朽化した施設は、寂れ感が強く観光にはダメージだ。リフォーム補助復活の要望もあるので、事業者対象の外観リフォーム補助をすべしと考えるが。

**答** 23年度〜25年度は住宅リフォーム。26年度は地域活性化事業補助。28年度まで被災住宅修繕補助。28年度から起業・創業支援補助を創設し、年1000万円近くを補助。直ちに導入するのは難しい。

**問** 観光従事者が公平に負担し、なおかつ観光客も「来て良かった」と思える観光地にするために、検討に時間をかけるべき。住民の意見を反映できるような仕組みや場の検討は。

観光関連団体には委員として参加、事業者からのヒアリング・意見交換会、パブリックコメントを実施し意見を反映。

**問** 今までと同じことをやっても違う結果は出ない。財源検討の審議会をケーブルTVで放映し、内容を知ってもらうべきと考えるが。

**答** 藤本副村長他の村の検討委員会とのバランスも考えて検討。

**問** 「新・道の駅」調査の結果は

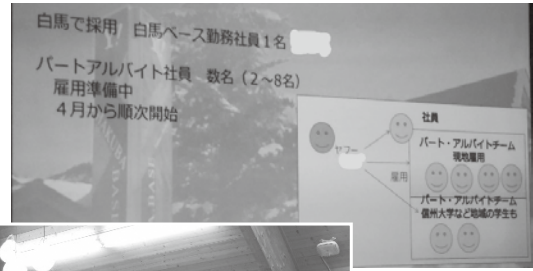
**答** 国交省の検取<sup>注2</sup>作業があり3月末に

**【新・道の駅】**  
**問** どのような調査結果だったのか。

**答** 国土交通省の調査結果の検取作業を受けるため、結果は3月下旬。

**問** 住民不在の計画にならないために、今後どう意見を集め合意形成を図っていくのか。

**答** 村内25の各種団体・法人に対してヒアリングを実施中。然るべき時期に調査結果の報告を予定。



注1：P(計画)業務計画を作成。D(実行)業務を行う。C(評価)業務の評価を行う。A(改善)実施を調べて改善をする。この4段階を順次行い1周したら、次のPDC Aサイクルにつなげるという検証方法。  
注2：仕様とおりになっているかどうかを検証すること。

ふるさと納税は使い勝手のいい大切な自主財源。観光財源に充てることも検討。そんな大切な財源の10%を外部委託するが、見込まれる雇用はパート・アルバイト2～8名程度。(外部委託先での説明会 3月23日)

**問** 平成30年度予算で重要視した事業は  
**答** 子育て世代包括支援センターの開設



田中榮一 議員

【平成30年度予算と村長4年任期の総括】

**問** 予算編成で最も重要視した事業は。

**答** 妊娠・出産期から18歳まで子育てに関する相談や、療育等切れ目のない支援を実現するため、子育て世代包括支援センターを設置する事業。地方創生交付金事業で、世界No.1リゾートと通年マウンテンリゾートを見据えた、世界から選ばれる山岳観光地構築事業を展開する。

**問** 選挙公約に「元氣ある白馬村を取り戻す」とあるが取り戻すことができたか。

**答** 就任から3カ月、26年11月22日白馬村の歴史に残る大震災が発生し、被災された

**問** 次の小水力発電所建設の考えは

**答** 水量調査など適地の検証等に取り組む

方々の避難先の確保や、生活基盤、産業基盤の復旧に主力で対応に当たった。震災もあったが、白馬村合併60周年記念大会、30年ぶりに開催した銀嶺国体、FISサマーグランプリ、ワールドカップコンバインド白馬大会など、全国・全世界に白馬ブランドを発信できた。予期せぬ災害の発生により、元氣な白馬村を取り戻すことができたか分からないが、元氣な白馬村をPR出来たと思う。

**問** 8月村長任期が満了するが2期目の考えは。

**答** 自分なりにわき目も振らず村政に取り組んできた。その時期については、後援会や支持者の皆さんと相談しながら判断したい。

**問** 新たな観光振興策は

**答** サイクルツーリズム事業を積極推進

【自然エネルギーの利活用】  
第5次総合計画では、積極的に自然エネルギーの利活用に取り組むと謳っているが。

**答** 自然環境への負荷が少ない発電システムに前向きに取り組むことは、この時代に生きる我々にとって責務と考える。

**問** 新たな小水力発電所を造る計画は。

**答** 村として地球温暖化防止対策の問題に取り組むことは大事なこと。小水力発電所建設に向けては、水量調査等適地の検証や、エネルギー先進国の事例研究、関係省庁等の更なる助成制度など財政面の研究も併せて取り組む。

【グリーン期のスポーツ観光】

**問** 新しい観光振興策として自転車環境整備に取り組んでいるが、進捗状況は。

**答** 年度予算新規事業として「サイクルツーリズム事業」の1100万円を計上した。施設面で2020年東京オリンピックを前に、事前合宿を受け入れるための環境整備を行う。

**問** 新しい観光振興策を考えているか。

**答** 白馬ALPS花三昧をより充実させるために、新たなアイディアとして食用の花を使い、食の面から花溢れる白馬を体験していただくこと企画している。



自然エネルギーの有効活用は可能か  
湧水期でも水の流りが絶えない犬川

## もつと身近な議会に！ 議会基本条例の検証を行っています

現在、議会運営委員会では「白馬村議会基本条例」の検証を行っています。  
この基本条例は、議員の活動原則として昨年の4月から施行され、この条例に基づき1年間活動をしてきました。

しかし、さらに充実した活動をするためには、基本理念の再確認、論点・争点の明確化、ホームページの充実やルールの策定等が必要であることを実感しました。そのため、昨年実施した「議会と村民との意見交換会」で出されたご意見等も踏まえ、議会運営委員会を中心に、熱意を持って基本条例の検証を進めてまいります。

### こんなことを検討しています！

- 陳情・請願の書き方をホームページに掲載
- 陳情・請願で意見陳述する場合の手続き
- 意見交換会開催の要望があつた場合の基準
- 自由討議の充実
- 議員研修のあり方
- 議会だよりのモニター制度等
- 議会図書室のあり方や管理 など



## おやきの製造で 現地雇用を促進

現場視察 庄屋 まるはち

前回に引き続き指定管理者となつた㈱GCは、長野市で「そば屋のおやき」を販売。その手法をここにも応用し、松本城近辺を拠点にする販売を目的とした製造を「庄屋・まるはち」で行う予定だ。

長野のおやきはおばあちゃんたちの手作り。同様に白馬でも高齢者を雇用し、手作りおやきの製造拠点とする。



村長から「絵画などを展示する場に…」とのアイデアも出されたが…。  
有効活用に期待がかかる。(現場での説明 3月22日)

### 表紙の写真説明



4月14日に行われた平昌オリンピック・パラリンピック出場選手凱旋パレードに、寒中たくさんの方が応援に集まってくれました。横断幕を用意してくれた皆さん、先頭で旗を持ってくれた白馬中スキー部女子、選手にメッセージを送ってくれた白馬高校生、凍える手を温めながら演奏に励んでくれた白馬北小・白馬中吹奏楽部の皆さん、そして白馬の名を世界へ轟かせてくれた選手の皆さん、本当にありがとう。

ご意見を  
お寄せください。

85-0725(直通)  
72-7001(ファックス)

## 議会傍聴においでください

むらの未来が見える  
(12月定例会の傍聴者延べ  
本会議 33名、委員会 10名 合計 43名) 次の定例会は 6月 本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます

## 夢、私たちに。

# わたしのひとこと



### 夢と希望が持てる村に

三日市場 柏原 孝至

子ども達が夢と希望を持って活動できる村、村民が安心して生活できる村に。平昌オリンピックで大北唯一の銀メダリスト、W杯総合優勝、渡部選手の活躍が連日報道されました。どうでしょうか、スノーハープに渡部コースを作ったら。

春の雪解け、白馬三山と桜の開花、リーゼンスラロームコースの片側を桜並木にしたら、いかがでしょうか。五月に入ると山の嶺に向かって咲き上がる桜は見事だと思います。

観光で生きる村の道の駅は場所が大切。場所が良ければ収入はかなり見込めます。雇用を増やし、利益は村民の為に使う。村内で地形的に車がどうしても通らなければならない場所に、国道、オリンピック道路、計画中の高規格道路、JR駅などに観光施設も充実させる計画を早期にして、造ってほしいものです。飯森はどおだねえ。



### 農業って？！

新田 横沢 富美子

大阪から嫁いだ私にとって、農業は何もかもが初体験。嫁いだ当初は何もわからず、義父や義母の苦勞も知らず。2年前に義父が亡くなり、それまで義父のしていた様々な農業を、義母と主人で手分けし、私も少しばかりお手伝いをするに。そして気付いたことは米作りの大変さと、それに見合うだけの収入が得られていないという現実でした。「お米は作るよりも、買った方が安い」という言葉の真意が理解できました。

今後、細々と続ける農業従事者にも高齢化が進み、荒廃農地は増加の一途。早急に手を打たなければ、のどかな田園風景も失われてしまいます。春から秋のお米作りや農作業で、しっかりと収入を得ることができれば、冬だけの白馬移住者たちが白馬定住を考えることにも繋がってゆくのでは。白馬を愛し、農作業へも挑戦したい人、求む！



### 障がいを負って思うこと

飯田 田中 聡夫

私は6年前に交通事故で不自由な体になり、様々な面で不便なことが多くあります。

私が負った障害は右足のひざ上での切断と、右股関節の可動域制限です。普段は義足と車いすを併用した生活となっています。

行政の対応の遅れは強く感じるところで、私が使用しているコンピューターで制御する高機能な膝継手は、5年前にようやく公的な認証を受けて費用負担が軽くなりましたが、既に20年以上前に発売されていたものです。未だに高機能で高価な義肢の部品はぜいたく品であるという認識が強くありますが、どんなに高機能な部品を使ったところで普通に歩くのに近づくだけで、決して生身の脚には敵わないということです。

障がいは、人それぞれで通り一辺倒な対応で済まない。そのことをご理解いただければと思います、この文を書かせていただきました。

## あ と が き

春の訪れと気温の上昇に驚いています。4月中頃には桜も開花する勢いです。速さと言えば、北朝鮮の金正恩氏の変わり身の速さです。昨秋はミサイルを飛ばし、核実験を行うなど世界を敵に回しやうたい放題でしたが、平昌オリンピックを境に対話路線に舵を切る豹変ぶりには驚かされます。

驚くと言えば、日本の最高行政組織の公文書が改ざんされ、改ざん文章に基づいて1年間も国会審議が行われていたこと。

これからも人としての良心が、行政の信頼が、日本の民主主義が試されます。

(加藤 亮輔)

### 議会報調査編集特別委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 議長   | 北澤 慎二  |
| 委員長  | 伊藤 まゆみ |
| 副委員長 | 田中 麻乃  |
| 委員   | 丸山 勇太郎 |
| 委員   | 太田 正治  |
| 委員   | 加藤 亮輔  |
| 委員   | 田中 榮一  |
| 委員   | 津滝 俊幸  |

白馬議会だより 124号 平成30年4月30日発行  
 発行 長野県白馬市議会 編集 議会報調査編集特別委員会 印刷 PO印刷(株)  
 〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村 0261-72-5000 FAX0261-72-7001  
<http://www.villhakuba.jp/assembly/assembly.html> E-mail gkai@villhakuba.jp